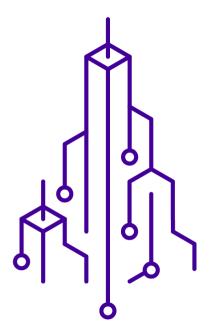


Heroku Enterprise - Partner Enablement Session

# Heroku 201

**Hands on Guide** 



## 目次

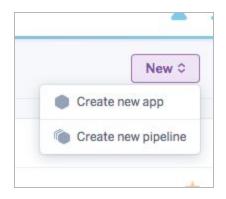
ステップ1:マスターデータベースの作成	3
Herokuに新しいアプリを作成する	3
アプリにHeroku Postgresを作成する	4
テーブルを作成しデータをロードする	5
ステップ2:レプリケーションデータベースの作成	7
Followデータベースを作成する	7
レプリケーションの進捗を確認する	9
Followデータベースを昇格する	10

## ステップ1:マスターデータベースの作成

### Herokuに新しいアプリを作成する

Herokuダッシュボードにログインし、新しいアプリを作成します。

ダッシュボード右上の「New」をクリックし「Create new app」を選択します。



Create New App画面でアプリの情報を入力します。

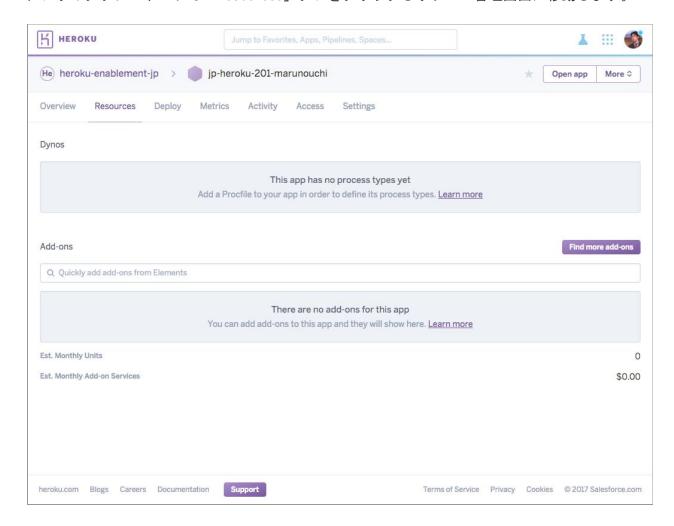


- App name は jp-heroku-201-(任意のアルファベット) を入力して下さい。
- App owner はheroku-enablement-jp を選択して下さい。
   ※選択できない場合には講師にお知らせ下さい

ページ下部の「Create App」をクリックするとアプリが作成されます。

## アプリにHeroku Postgresを作成する

アプリのダッシュボードで「Resources」タブをクリックしリソース管理画面に移動します。



Add-onsにある検索ボックスに「postgres」を入力し、Heroku Postgresを表示してクリックします。ダイアログボックスが表示されるので Plan name から 「Standard 0 - \$50.00」を選択し「Provision」をクリックします。



ターミナル端末を起動し、以下の herokuコマンドを実行します。

\$ heroku pg:wait --app (作成したアプリ名)

データベースインスタンスが利用可能になるまで数分かかります。「Availableになった」というメッセージが表示されるのを待ちます。

heroku configコマンドを実行し、アプリの環境変数にデータベース接続情報が設定されていることを確認します。

\$ heroku config --app (作成したアプリ名)

=== jp-heroku-201-marunouchi Config Vars

DATABASE\_URL: postgres://ujbjc28v9sfd3:p05a921f5e4d230f0903ae8ac8b...

また heroku addonsコマンドを実行すると、アプリに作成されているアドオンとして Heroku Postgres が設定されていることを確認します。

\$ heroku addons --app (作成したアプリ名)

Add-on Plan Price State

heroku-postgresql (postgresql-rigid-28214) standard-0 \$50/month created

as DATABASE

## テーブルを作成しデータをロードする

Githubの以下のページにアクセスしトレーニング用のテーブル定義とデータを取得します。

https://github.com/ayumin/heroku-enablement-201

ターミナル端末で git コマンドを実行しリポジトリをローカルPCにダウンロードします。

\$ git clone https://github.com/ayumin/heroku-enablement-201.git

作成されたリポジトリに移動した後、以下の heroku コマンドを実行し作成したアプリとリポジトリを紐付けます。

\$ heroku git:remote --app (作成したアプリ名)

ターミナル端末で heroku コマンドを実行し psql(SQLクライアント)を利用してデータベースに接続できます。

\$ heroku pg:psql

Common Runtimeに作成したHeroku PostgresにはPostgreSQLに対応した各種クライアントソフトから接続することができます。

次に、以下のコマンドを実行しテーブルの作成をおこないます。

\$ cat heroku-201-create-table.sql | heroku pg:psql

--> Connecting to postgresql-rigid-28214 CREATE TABLE

テーブルの作成が成功したら、以下のコマンドを実行しデータをロードします。

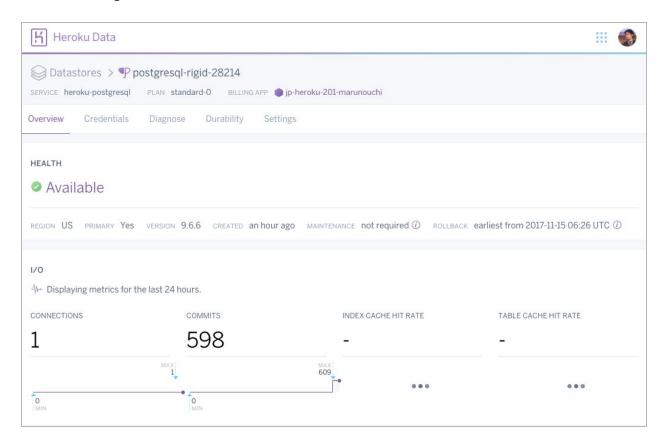
\$ cat heroku-201-dataload | heroku pg:psql

--> Connecting to postgresql-rigid-28214 COPY 5000

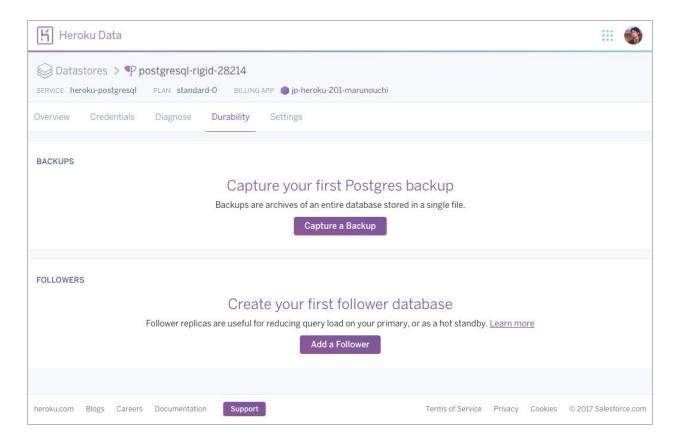
## ステップ2:レプリケーションデータベースの作成

## Followデータベースを作成する

作成したアプリをHerokuダッシュボードでひらき、Heroku PostgresのアイコンをクリックしてHeroku Postgresのダッシュボードを表示します。



ダッシュボード上部の「Durability」タブをクリックし、バックアップの設定をひらきます。



FOLLOWERSセクションの「Add a Follower」ボタンをクリックしプランを選択します。

正しいプランを選択後「Add Follower」をクリックします。

FOLLOWERS	
Follower created successfully	
The follower is provisioning and will be available in a few minutes.	
Got It	

Followデータベースの作成が完了には、しばらく時間がかかります。

画面を再ロードし以下のように表示されればデータベースの作成が完了し、データのレプリケーションが始まっています。



アプリのダッシュボードを表示すると、Heroku Postgresが2つプロビジョニングされていることが確認できます。



heroku config コマンドや heroku addons コマンドでもFollowデータベースが作成されていることを確認して下さい。

### レプリケーションの進捗を確認する

heroku pg:sql を利用して全てのデータが同期されていることを確認します。

最初にマスターデータベースに接続し、データ件数を確認します。

\$ heroku pg:psql -c 'select count(\*) from users'
--> Connecting to postgresql-deep-27841
count
----5000
(1 row)

次に、Followデータベースに接続し、データ件数を確認します。

アクセスするためには、コマンドライン引数として Followデータベース接続文字列の名前を指定します。

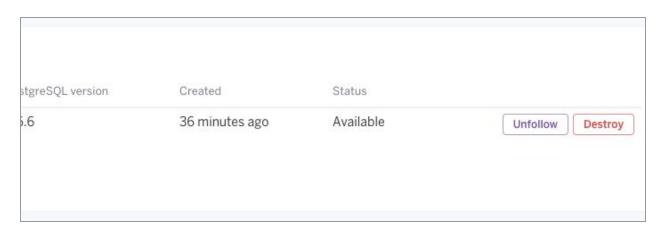
# \$ heroku pg:psql -c 'select count(\*) from users' AMBER --> Connecting to postgresql-shallow-25850 count ----5000 (1 row)

マスターデータベースと同じ件数が表示されれば全てのデータが同期されています。

さらに、マスターデータベースのデータを追加、更新、削除等の操作や新しいテーブルを作成したりして、Followデータベースにもその内容が反映されることを確認しましょう。
※この手順は余裕のある人だけ実施して下さい

#### Followデータベースを昇格する

マスターデータベースのHeroku Postgresダッシュボードをひらき「Durability」タブをクリックします。FOLLOWERセクションに表示されているFollowデータベースの右側の「Unfollow」をクリックして、リプリケーション設定を解除します。



接続解除の確認メッセージが表示されるので、アプリケーション名を入力して「Unfollow database」をクリックします。



接続解除をおこなうと、2つのデータベースの親子関係は解除され互いに独立したデータベースとしてアプリに接続されている状態になります。元FllowデータベースであったHeroku Postgresをアプリのデフォルトデータベースに昇格するには、以下のコマンドを実行します。

\$ heroku pg:promote AMBER --app jp-heroku-201-marunouchi
Ensuring an alternate alias for existing DATABASE\_URL... HEROKU\_POSTGRESQL\_NAVY\_URL
Promoting postgresql-shallow-25850 to DATABASE\_URL on ● jp-heroku-201-marunouchi... done

以上の操作で、アプリのデフォルトデータベースを切替えることができました。